



特集

地域をつなぐ交流センター

～今、交流センターが新しい～

地域活動の
拠点を
目指して

少子高齢・人口減少社会を迎え、防犯や防災、福祉など、私たちの生活に身近な地域の課題は年々複雑化し、個人や自治会だけでは対応は難しくなっています。加えて、地域活動への参加者の減少や役員の担い手不足など、地域内でのつながりも薄くなり、課題解決はより厳しい状況となっています。

こうした問題を解決するため、平成27年4月、それまでの「公民館」や「コミュニティセンター」は、地域の活動拠点として「交流センター」に生まれ変わりました。



交流センターは、私たち市民が主体となって取り組む地域づくり活動の支援を行うほか、各種講座への参加を通して地域の皆さんが気軽に集い、学び、交流する施設を目指しています。

誕生から約3年、これまでの利用者の意見を踏まえ、より使いやすい施設を目指して「交流センター」は今も変わろうとしています。



地域の情報を 多くの人に 届けたい

「交流センターがどんなところなのか分からない」「情報を目にする機会がない」「年配の方が多く、若者が利用するイメージがない」。昨年2月に市が市政モニターを対象に行ったアンケート調査では、こんな声が聞かれました。

交流センターの役割やそこでの出来事を広く地域の方にも知ってもらいたいとの思いから、各交流センターでは「交流センターだより」を発行し、情報発信に力を入れています。自治会回覧などでご覧になった方もいるのではないのでしょうか。

より良い「交流センターだより」を目指して、毎年各交流センターの職員が集まって研修会を開催しています。研修を通して、皆さんがより読みやすい広報紙を作成するだけでなく、若者の利用が多いフェイスブックなどのSNS（会員制交流サイト）を利用した情報発信にも取り組み始めています。



▶「広報研修会」では、さまざまな資料を活用して広報を学びます。
▲交流センター職員が、地域に密着した情報を発信します。

昨年12月に、市内全23の交流センターの事務職員により「ベスト・オブ・交流センターだより」が選ばれました。見事ナンバーワンに選ばれたのは「富岡交流センターだより」です。季節感のあるイラストを取り入れ、交流センターの講座や地域の風習・出来事を写真付きで見やすく分かりやすく紹介しています。



富岡交流センター
袴田 くるみ さん

高齢の方でも読みやすいように文字を大きくし、交流センターでの講座だけでなく、季節感のある地域行事も掲載するようにしています。

私たちが作る「交流センターだより」で、地域にお住まいの皆さんが交流センターに足を運ぶきっかけになってくれたらうれしいです。

▶ 昨年の「ベスト・オブ・交流センターだより」に選ばれた「富岡交流センターだより」

富岡交流センターだより 年末特別号

発行元：富岡交流センター（月曜・祝日休館）
磐田市加茂3 ☎0538-34-4735

ファミリーコンサート大盛況！

12月10日（日）、交流センター講堂にて今年もファミリーコンサートを開催しました。富岡交流センターで活動する音楽・ダンスサークルの皆さんによる生演奏・発表に皆で聞き入りました。今年も豊田中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏もあり、大勢のお客さんとともに、クリスマスソングも交えながら楽しいひと時を過ごしました。



警察よりお知らせ 多発中！振り込め詐欺にご注意



子どもや孫をかたって金銭を要求したり、警察官や銀行員のふりをして口座の暗証番号を聞き出したりといった詐欺が多発しています。金銭を要求する電話があったら、必ず周囲の人や警察に相談しましょう。日頃から家族と連絡を取っておくことも有効な防止策です。

電話があったら落ち着いて家族に相談、確認！
すぐに振り込まないでください！

子どもや孫をかたって金銭の要求があったら、友人や同僚ではなく自分でお金を取りに来よう言うのも騙されないアイデアね。

交流センター×国際交流 ～外国の味を学ぶ～

豊岡東交流センターでは、地域住民が外国の食や文化に触れる機会にしようと毎年「キムチまつり」を開催しています。

韓国出身で市内在住の西尾春子さんが講師を務める本格キムチ作りは、他の交流センターでも大好評です。西尾さんは「より多くの人に本場韓国のキムチの味を知ってもらい、韓国に興味を持ってもらえたら」と話します。

参加者は、韓国を代表する食べ物である「キムチ」作りを通じて、同国への理解を深めています。



交流センターは みんなの 「学びの庭」



従来の「公民館」は、生涯学習の拠点として多くの皆さんに親しまれてきました。それは「交流センター」となった今でも変わっていません。交流センターは、料理やパソコン教室、展示会、発表会など、皆さんの学習の場、学習の成果の発表の場としての顔も持っています。

市が2カ月に1回発行する「学びの庭」では、市内の交流センターで開催される講座やイベント情報を紹介しています。皆さんも、交流センターの職員が厳選した「学びの庭」で、新しい自分を見つけてみませんか。

おいしいキムチ♪



新たな 取り組みに 挑戦

交流センターでは、より多くの人が施設を利用し、時代に応じた課題を学ぶことができるよう、新たな取り組みにも挑戦しています。

◆ 昨今、テレビなどで取り上げられる機会が多いLGBT※エールジェーティーに関する理解を深める「LGBT基礎知識講座」には、市内だけでなく市外や県外からも参加がありました。同様の講座が近隣地域でもあまり開催されていないこともあり、注目度の高い講座となりました。

また、健康づくりの専門家である保健師や栄養士が地域に向いて健康相談や健康講座を開催する「まちの保健室」も、高齢化が進む現在では、時代のニーズに応じた新たな取り組みといえるでしょう。

◆ 平成30年度からは、初めて子育てを経験する母親を支援する「親子の絆づくりプログラム（BPプログラム）」などの子育てに関する講座を拡大し、交流センターが地域の子育て支援にも積極的に関わっていく予定です。

◆ 私たちが、過去に誰も経験したことがない少子高齢・人口減少社会に直面する今、交流センターもその在り方を変えていこうとしています。



▶ LGBT基礎知識講座（富岡交流センター）



▶ 栄養士による栄養講座（まちの保健室・竜洋交流センター）



▶ BPプログラム（西貝交流センター）

※ LGBT…性的マイノリティー（少数者）を総称してLGBTと呼ばれることもある。性的マイノリティーには、性的指向（同性愛者・両性愛者など）と性の違和感（性別違和）などがある



交流センター×伝統の継承 ～伝統の遊びを学ぶ～

福田南交流センターでは、昔の遊びや道具の使い方方を若い世代に伝えていこうと「竹とんぼづくり」を開催しました。

参加者は、昔懐かしい「竹とんぼ」を子どもや孫へのプレゼントにしよう、講師に作り方を学びました。高塚由美子さんは「孫と一緒に飛ばしたり色を塗ったりしたいです」と話しました。

ここで学んだ「竹とんぼ」の作り方は、参加者からその子、そして孫へと世代を超えて引き継がれていきます。

交流センター×男性参加 ～男の趣味を学ぶ～



南御厨交流センターでは、男性にも気軽に施設を利用してもらうようと、「メンズクッキング教室」を開催しました。

この教室では、保健師による男性向けの健康講座も行われました。参加した川島高雄さんは「生活習慣病予防」をテーマにした教室だったので、興味がありました」と話します。

教室や講座が、これまで交流センターの利用が少なかった男性が交流センターに足を運び始めるきっかけの一つとなっています。

孫と遊ぶのが
楽しみ♪



香も大喜び♪



交流センターが 人と人を つなぐ

引越してきたばかりで地域のご地域がよく分からない人もいれば、長くその地域に暮らして地域の習わしなどに詳しい人もいます。初めて子育てを経験する人もいれば、子育ての経験が豊富な人もいます。料理を習いたいという人もいれば、得意の料理を誰かに教えたいという人もいるかもしれません。このように、地域にはさまざまな人が暮らしています。

今、交流センターではそのような人たちをつなげようと動き出しています。一人一人にできることは少ないかもしれませんが、地域が集まり、地域の課題解決のために「人」と「人」がつながれば、それは大きな「力」となります。

私たちの生活を取り巻く環境の変化によって、地域のつながりが希薄になっていく今こそ、それぞれが持つ「知恵」や「知識」「経験」「技能」などを分かち合うことが求められています。

交流センターから 生まれる 「出会い」と「学び」

私たちが暮らすこの磐田市、そしてこの地域を、より暮らしやすい「まち」にしていくためには、そこに暮らす人たちの力が欠かせません。まちづくりの中心は市民の皆さんです。

人と人がつながり、成長すること「まち」は豊かになっていきます。より暮らしやすいまちづくりのため、「人の成長」すなわち「人づくり」の役割を担うのが、交流センターです。皆さんも交流センターで、新しい「出会い」、新しい「学び」をぜひ見つけてください。

◇

交流センターも地域の一人です。私たちの暮らし「まち」を、より暮らしやすい「まち」にしていきたいという思いは、交流センターも皆さんと変わりません。

交流センターでの「出会い」や「学び」は、きっとあなたの暮らしを豊かにしてくれるはずです。